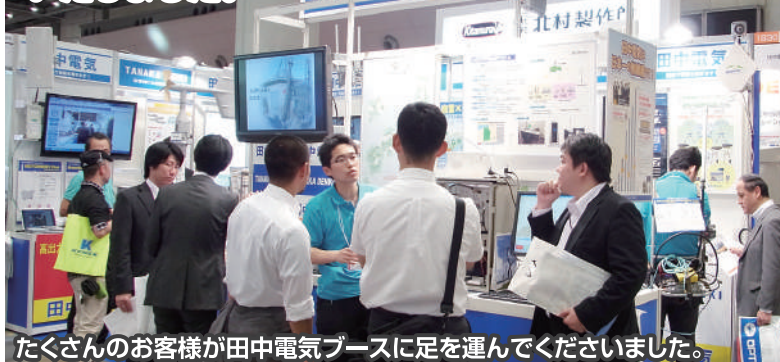




Risk Control in Tokyo
RISCON
TOKYO

危機管理産業展2012に たくさんのご来場をありがとうございました!!

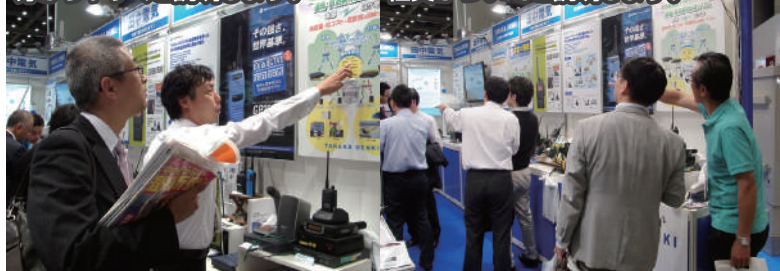
10月17日(水)~19日(金)東京ビッグサイトにて
開催された危機管理産業展2012に今年も出展
いたしました。



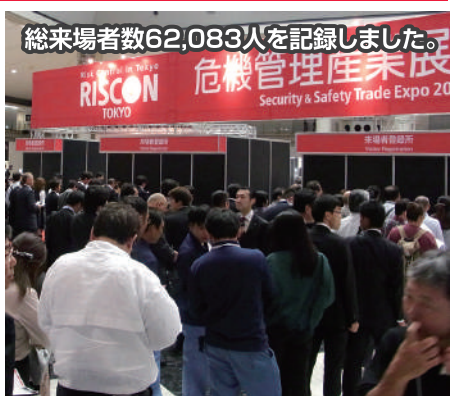
たくさんのお客様が田中電気ブースに足を運んでくださいました。

図や美機を使いながら
分かりやすくご説明します。

お客様お一人おひとりに田中電気
社員がついてご説明します。



田中電気は、災害時の通信手段として非常に有効な業務用無線システム(MCA無線機/簡易無線機)を中心に展示いたしました。その他にも5GHz帯無線アクセスシステムを使用した無線通信システムや監視カメラシステム等を実演し、たくさんのお客様に紹介させていただきました。



総来場者数62,083人を記録しました。
RISCON TOKYO 危機管理産業展
Security & Safety Trade Expo 2012

特に注目を集めた商品は、「屋外用Wi-Fiベースステーション」です!見通しで1kmの通信距離を確保でき、免許や資格も不要で広範囲に渡ってWi-Fi環境を構築できます。▶



今回初めて展示した新商品をご紹介します♪

アイサットフォン・プロ (衛星携帯電話)

インマルサット社

KDDI販売価格 **89,800円**



通話可能エリアは全世界!
9万円弱という低コストで、災害対策・BCP対策に導入できます。
重量は280gと軽量。内蔵バッテリーで連続約100時間の待受、連続約8時間の通話が可能です。
月額の基本料金は4900円、通話料は1分間160円。



本体についている小型アンテナを回転させて使用します。

高齢者見守りサービス 「絆-ONE」

M2Mテクノロジーズ株式会社

離れた家族をサポート。



「緊急」「挨拶」「御用聞き」の3つのボタンで、緊急通報と日常のコミュニケーションをサポートします。押されたボタンの情報は、リアルタイムでスマートフォンに転送され、高齢者の方の状況が確認できます。さらにオプションでセンサーを設置すれば、日常の行動から安否確認ができるソリューションもあります。詳しくは、無線システム事業部 高杉まで!

0120-150712

妙義中継局の点検を取材しました。



群馬県富岡市にある妙義中継局

6月号でお届けしました、吾妻中継局の取材に引き続き、群馬県富岡市にある妙義中継局の取材に行ってきました。

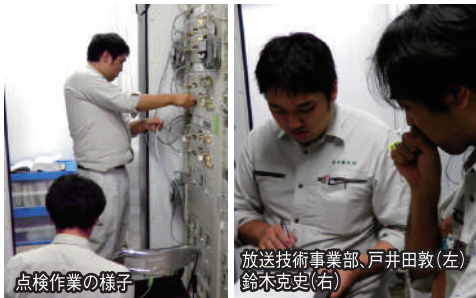
＊

妙義中継局は、富岡市と安中市の約3087世帯のご家庭に放送の電波を送信するとともに、横川にある中継局へ再送信を行っている中継局です。

放送局の機器の点検は、しっかり電波を受信し、受信した電波を送信できているか、出力は足りているか等の確認をします。放送機器以外の周辺設備（電気設備）も一緒に点検します。

＊

点検はいつも2人で行います。先輩社員が後輩社員に問題を出しながら点検を行うことで、田中電気のノウハウを引き継いでいきます。安全で良質なテレビ放送をお届けできるよう日々努力しています。



点検作業の様子

放送技術事業部、戸井田敦(左) 鈴木克史(右)

新商品!

単体での中継はもちろん
複数接続でも広範囲な
通信エリアをカバーします!

モトローラ特定小電力MSシリーズ対応 カバレッジ拡張用中継装置 FTR-308

- ビルや商業施設・モールなど、別フロアでの通信にも!
- 倉庫間や工場間にて、LANケーブルが引けない場所でも!
- イベント会場など電源供給が確保できない場合でも!
- いままで範囲が限定されていたMS50の通信エリア拡張にも!

FTR-308の特長

- ・送受信の独立したアンテナで通話エリアと安定した品質を確保
- ・リチウムイオンバッテリー内蔵で約10時間稼働(AC電源遮断後でも自動切替)
- ・DCS(デジタルコードスケルチ)活用で142通りのグループ設定可能
- ・中継用27chに対応、送信出力は10mW/1mWの切替えが可能
- ・免許・資格不要なトランシーバーでも通話エリア拡張が可能
- ・400gと小型・軽量で設置も簡単(置型・壁付け対応)
- ・緊急アラーム音と中継器周囲音を子機に一齐送信
- ・前面パネルのボタンで簡単にチャンネルモードを設定可能

対応トランシーバー



お問合せ
☎ 0120-150-712
まで!!



神田のお稲荷さん巡り
其のハ
佐竹稲荷神社
千代田区内神田3-10-1
今月のご紹介は、神田西口商店街の中ほどに鎮座している佐竹稲荷神社です。



江戸屋敷を構えた佐竹家(秋田二十万石)が、藩邸の鬼門除けのため、寛永12年(1635)、邸内の一隅に社を建立し、稲荷の神を勧請したことに始まるそうです。天和二年(1682)の大火により一面焼土となり、稲荷神社は再建され、佐竹家の家紋「扇に日の丸」を社紋とし火防の守護神として

江戸市民の信仰を受けてきました。大正12年(1923)関東大地震で灰燼に帰し、現在地に移して再建。しかし、昭和20年(1945)大空襲で再び焼失します。昭和30年(1955)町の有力者により本格的再建が行なわれ、今では火伏の神様に加え商売の神様として、多くの信仰を集めているそうです。



出展のご案内 Inter BEE 2012 International Broadcast Equipment Exhibition

みどころ

田中電気が行っている「テレビ中継局の保守・点検業務」を中心に展示します!
さらに、5GHz帯無線アクセスシステムやIPラジオ設備、無線システムを展示する予定です!

ご来場をお待ちしております!



11月14日(水)・11月15日(木)
午前10時～午後5時30分
11月16日(金) 午前10時～午後5時
場所 幕張メッセ/入場無料(登録制)

四字熟語

高山流水

芸術の秋に因んで…

【意味】昔、中国の琴の名手伯牙が高山を思い琴を弾くと、鐘の音が「泰山の如し」と評し、流水を思っると「江河の如し」と評した故事から、絶妙の音楽のこと。また自分の気持ちを十分に理解してくれる友。

【用例】高山流水の演奏にひたって時を忘れる。そういう心の余裕がほしいものです。(『使い方がわかる四字熟語辞典』長島猛人著 五曜書房)

編集後記

朝夕は肌寒くなりましたね。みなさんいかが「秋」をお過ごしですか? もう紅葉を楽しめた方もいらっしゃるでしょうか。紅葉の色付きは、秋の気温や日照時間のほかに、夏の葉の育ちや痛み具合に影響されるそうですが、今年の紅葉は色鮮やかとのこと。私も紅葉を見に、レジャーシートを持って都内の公園に出かけたいと思います。今年も残すところ2か月。風邪にはお気をつけて温かくして過ごしましょう。(長谷川)

【表面の花の解説】ヒラギ(終: 柗木、学名: Osmanthus heterophyllus) モクセイ科モクセイ属の常緑小高木です。葉は固くて、縁には先が鋭い刺となった鋭鋸歯があります。和名は、その刺に触るとヒリヒリ痛む(古語: 疼(ひひら)く<疼(ひいら)く)ことに由来しますが、老樹になると葉の刺は次第に少なくなり、葉は丸くなっていきます。「柗の花」は冬の季語です。11~12月、同じモクセイ属のキンモクセイに似た芳香のある白い花を咲かせます。古くから邪鬼の侵入を防ぐとされ、庭木に使われ、節分には、籬(いわし)の頭をヒラギの枝の先端に刺して門戸に飾る風習があります。鬼の嫌がる籬の臭いとヒラギの葉の刺に痛がって鬼が近寄らないので、鬼門封じや厄除けになると昔から信じられてきたようです。